乳児棟外観

地元の大工さんでつくる小さな保育所

広島県福山市の街中、住宅と田んぼが混在する場所に小さな保育所ができました.
既存保育棟の敷地内に新築された乳児棟は0歳から1歳が一日の半分以上をすごす場所である. ワンフロアで構成された平面は、常に先生と子どもたちが互いに気配を感じることができる.外部と内部を繋ぐホールにはトップライトを設けることで1日を通して陽がさし込み、外部からのアプローチ機能だけでなく子どもたちの遊び場所として使用している.

園庭からはガラスの建具を透して子どもたちを見渡せ、視線のつながりを意識することで子どもたちに安心感をあたえている.

構造は木造在来工法とし地元の大工さんの手でつくられ、建物を支えるために必要な柱、梁を表にあらわすことで構造の力強さと木質のやさしさを感じることができる.内部の仕上げには、床はナラ材（厚15mm）壁は珪藻土塗り、天井は杉材(厚30mm)の自然素材を使用している.

建具や家具に杉板を使用し、自然塗料を使用することで、子どもたちが触れる箇所は木のぬくもりと安全性がある. 床下や天井などの目に見えない箇所にも自然素材を使用することで化学物質の発生と臭いがなく、木の香りを時間の経過とともに感じることができる. 安全性や安心感に囲まれた空間での生活は、先生や子どもたちにとって肌触りだけでなく視覚的にもやさしい保育所である.

建築概要

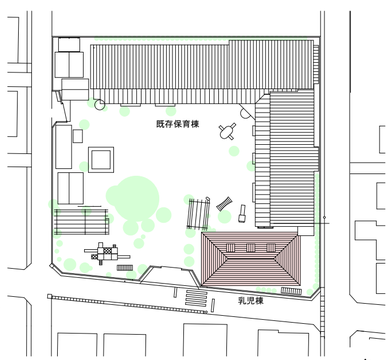
所在地	広島県福山市川口町	
用途	保育所	
延床面積	申請建物	140.04㎡
	既存建物	781.00㎡
	合計	921.04㎡
階数	地上1階	
構造	木造在来工法	

おもな外部仕上

屋根	塩ﾋﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板	70.5
外壁	杉板 715	自然塗装
	白州そとん壁	
開口部	木製框戸	自然塗装
	アルミサッシ	

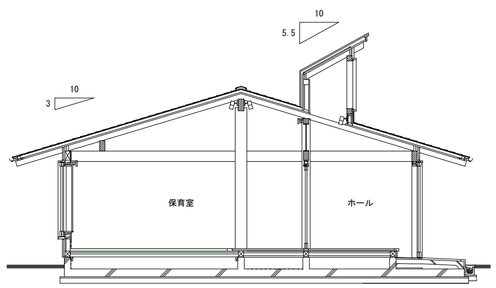
おもな内部仕上

床	ナラ縁甲板715	ﾜｯｸｽ塗装
	畳敷き	
壁	珪藻土塗り	
天井	杉化粧野地板 730	



配置図　1：1000

平面図　1：200



断面図　1：100

保育室内観１

保育室内観２

ホール